

2016 年度 事業計画書  
(2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)

社会福祉法人神愛園

## 目 次

・ 事業計画にあたって	……	1
・ 基本理念		
・ 事業方針	……	2
・ 法人事務局	……	3
・ 神愛園手稲	……	4
特別養護老人ホーム神愛園手稲		
短期入所生活介護		
・ 星置ハイツ	……	5
・ 手稲地区在宅部門	……	6
高齢者居宅介護相談センター		
デイサービスセンター		
ヘルパーステーション		
・ 神愛園かなやま	……	7
・ 札幌市琴寿園	……	8
・ 神愛園清田	……	9
特別養護老人ホーム神愛園清田		
短期入所生活介護		
・ 清田地区在宅部門	……	10
高齢者居宅介護相談センター		
デイサービスセンター		
ヘルパーステーション		
・ 札幌市清田区介護予防センター清田中央	……	11
・ シャローム羊ヶ丘	……	12
・ 事業別業績目標	……	13

# 事業計画にあたって

理事長 太田一男

多くの福祉施策を担ってきた社会福祉法人は、少子高齢化や規制緩和の波から、舵取りが難しい時代を迎え、とりわけ人材の確保が困難になっています。

しかし、人材を確保して、質の高い事業運営を行っている事業者は少なからずあり、そうでない事業者との間で、二極化の様相を呈しています。

昨年度の介護保険制度改正は、介護サービスの在り方を大きく変えました。質の高いサービスとそれが提供できる質の高い人材を、より明確に求めています。

加えて、全国自治体で検討されている介護事業所の人材育成認証評価事業が本格化すれば、人材も報酬も、育成の取り組みが進んでいる事業者に集中するとみられています。

そこで、今年度からは、人材育成環境の構築と魅力ある職場づくりに本腰を入れ、職員一丸となって取り組みたいと考えます。

職員の将来不安を払拭し、サービスの質の向上がご利用者の満足につながれば、それが神愛園の使命を実現するための経営基盤の強化につながるものと、強く確信します。

## 法人理念

社会福祉法人神愛園は  
聖書の「善いサマリア人」によって示された  
キリストの愛の実践を基本理念とし  
地域と高齢者の要望に応え  
高齢者がその人らしく生活できる  
環境を創造することを目的とします

# 2016 年度事業方針

## 1. 選ばれ続ける職場づくり

### (1) 働きがいのある職場づくり

- ・人材育成システムを構築し、キャリアパスを整えることを通じて、職員が安心して将来を見通せるようにする。
- ・また、ビジョンや人材育成システムや復職者向け支援プログラムなどを積極的に公開し、求職者が安心して神愛園を選べるようにする。

### (2) 風通しのよい風土の醸成

- ・組織体制や職務分掌・権限・所属を整備して、一人ひとりの職員のキャリアに対する責任を明確にする。
- ・マネジメントサイクルを安定稼働させて、職員のモチベーションを維持する環境を整える。マネジメントスキルを高め、風通しのよい風土を醸成する。

### (3) 一体感と参画意識を高める

- ・職員自らが変革のリーダーとなることで、一体感と参画意識を高める。

## 2. サービスのすそ野の拡充

### (1) サービスの質の向上

制度からの要請が強まっているというだけでなく、サービスの質を高めることが、法人価値を向上させ、経営の安定に直結する。

### (2) サービスの幅の拡充

質が向上すれば、サービスのすそ野が拡がり、実施可能なサービスの選択肢を増やすことが可能になる。これもまた、法人の基本価値が高まり、経営の安定につながる。

## 3. リスクマネジメントの機能強化

### (1) マネジメントシステムの円滑な稼働

スタッフマネジメントやプロセスマネジメントの各システムを構築し、マネジメント不在による価値喪失を未然に防ぐ。

### (2) 改正社会福祉法への対応

2017 年度の外部監査の必須化に合わせて、外部監査に耐えうる内部統制環境の整備を進める。

### (3) 内部監査体制の整備

制度監査は現行通り現場職員が、他の内部監査については法人事務局の所管に逐次変更する。また監査項目のリスト化を進め、評価スケールの統一を図る。

## 4. 新たな地域価値の創造

### (1) 神愛園独自の地域づくりの展開

法や制度の要請があるから地域に関わるのではなく、地域のニーズを捉えて、むしろ法や制度側がその設計指針にしたいくなるような、神愛園独自の地域づくりを展開する。

# 法人事務局

## 1. 事業計画

### (1) 人材育成環境の整備

#### ①人材育成システムの策定

職種別・階層別・テーマ別・復帰支援他のカリキュラム作成(充足率 50%)

職種別カリキュラムは今年度介護職を主体に策定（他職種は次年度）

#### ②キャリアデザインに沿った研修体制整備

ビジョンに裏付けされた実効性のあるキャリアパス策定（今年度は介護職）

カリキュラムの運用準備（カリキュラムの実運用は次年度初から）

#### ③職員自らを改革のリーダーとして進める重点プロジェクトの運営

重点プロジェクト現場職員主体の遂行、進捗の全職員公開及び意見公募

#### ④職場意識調査票の作成並びに調査の実施

### (2) リスクマネジメント機能強化

#### ①改正社会福祉法施行に向けた対応

新評議員の選出、役員報酬基準の作成、定款変更、会計監査人の選定

#### ②外部監査に耐えうる内部統制環境の整備

基本方針策定、内部統制システム様式制定、周知研修

#### ③効果的な内部監査実施体制の整備

事業方針に沿って規程整備、内部監査計画書の策定、周知研修の実施

#### ④コンプライアンス研修体系の構築

研修カリキュラム策定、人材育成システムへの組み込み

#### ⑤マネジメントスキルの向上

研修カリキュラム策定、人材育成システムへの組み込み、研修の実施(一部)

#### ⑥業務の見える化と標準化

業務フロー作成(充足率 50%)と標準書式等の提案

#### ⑦施設部門支援体制の提案

### (3) 新たな地域価値の創造

#### ①外部公開性の向上

情報公開推進委員会設置と情報公開ビジョンの策定

#### ②福祉他分野への貢献可能性の調査

子育て支援や障がい者支援など福祉他分野への貢献可能性の調査

#### ③手稲金山地区の地域ニーズの把握（面談記録）

## 2. 評価の視点

上記事業計画文中に記載（特に括弧書きのないものは、実施可否での評価）

法人事務局長 後藤 学

# 神愛園手稲

特別養護老人ホーム神愛園手稲、短期入所生活介護

## 1. 事業計画

### (1) 選ばれる施設づくり

- ①利用者・家族・ボランティア・スタッフへの食事意向調査の実施
- ②食事意向調査に基づく趣向を凝らしたメニューの工夫と新しい食形態の開発
- ③身体能力の維持と生活意欲の向上を図るため、個別機能訓練の充実
- ④自立支援を重視したケアプランの立案から評価に至るまでの流れを確立
- ⑤ボランティア懇談会等で得た意見・ご要望を介護現場に速やかに反映
- ⑥育成プログラムの公開による大学・専門学校との連携強化

### (2) 人材育成と組織づくり

- ①人材育成環境の向上のため、法人が企画するプロジェクトチームへの積極的な参加
- ②サービス提供の根拠法に精通するための各職種への支援
- ③受験資格をもつスタッフへ資格取得勧奨(社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員)
- ④復職プログラムの作成と活用
- ⑤メンタルヘルス研修への参加勧奨
- ⑥ターミナルケアに関するご利用者、ご家族への情報提供と周知のための研修
- ⑦接遇向上委員会を通じた全スタッフへのサービスマインド定着の取り組み

### (3) 安定した施設運営

- ①水光熱費等を数値化し、要因分析により評価改善
- ②待機者の早期入所促進、空床期間短縮のための事前面接推進
- ③ストレスチェックの実施

### (4) 地域に開かれたホームづくり

- ①オレンジプラン・介護保険制度・介護技術に関する研修会・講演会の開催
- ②「認知症カフェ」を地域交流スペースで開催
- ③「オリーブ」(園内便り)の町内会回覧板化による広報強化

## 2. 評価の視点

上記事業計画文中に記載(特に括弧書きのないものは、実施可否での評価)

施設長 橋本 修一

# 星置ハイツ

軽費老人ホームA型星置ハイツ

## 1. 事業計画

### (1) 働きやすい職場づくり

- ①働きやすい職場づくり推進のため、法人重点プロジェクトへの積極的な参画
- ②職員のリフレッシュの為、有給休暇の取得を奨励（前年度取得率と対比）

### (2) 質の高いサービスの提供

- ①軽費A型に求められる役割の変化に対応できるよう、多職種連携の体制作りを推進
- ②良質なケアを提供するため、職員間での情報共有をより確実にする施策実施
- ③外部研修等に積極的に参加し、還元研修を実施（受講報告書）

### (3) 健全な施設運営

- ①建物や設備の計画的な修繕・交換作業（給排水管の大規模更新工事を含む）
- ②照明器具、誘導灯のLED化を進めコスト削減を図る。
- ③緊急時対応計画（苦情対応・感染症対策・個人情報保護等）の策定

### (4) 地域との交流を図り信頼される施設

- ①地域の方々との交流を深めるため、地域行事に積極的に参加する。
- ②施設の各種スペースを地域の方々へ開放する。
- ③ご利用者との交流を図るため、レクリエーションボランティア等を受け入れる。

## 2. 評価の視点

上記事業計画文中に記載（特に括弧書きのないものは、実施可否での評価）

施設長 伊東 浩一

# 手稲地区在宅部門

高齢者居宅介護相談センター、デイサービスセンター、ヘルパーステーション

## 1. 事業計画

### (1) 選ばれ続ける職場づくり

- ①職員個々のライフスタイルを意識した職場へのビジョン策定
- ②職員のリフレッシュの為、有給休暇の取得を奨励する。(前年度取得率と対比)
- ③法人重点プロジェクトに積極参画し、根本から働きやすい職場をつくる。

### (2) サービスのすそ野の拡大

- ①車椅子の方が安心して利用できる環境整備 (デイ：車椅子対応車・入浴設備導入)
- ②介護保険制度の手が届かないサービスを提供し、ご利用者の幅広いニーズに対応  
(訪問介護：保険外サービス)
- ③困難事例等に対応し、地域や諸機関から信頼される事業所を目指す  
(居宅：ケアプラン)

### (3) リスクマネジメントの強化

- ①自己点検一覧表 (基準) に基づく自主点検の実施と改善活動
- ②緊急時対応計画 (苦情対応・感染症対策・個人情報保護等) の策定
- ③無事故を目指して、日常点検チェックシートによる点検を確実に実施

### (4) 新たな地域価値の創造

- ①地域連携と透明性を確保するため、地域密着型通所介護への移行で設置する運営推進委員会の情報を内部公開する。(デイサービス)
- ②生活圏域との密着度を高めるために、介護劇による出張介護教室を手稲地区在宅部門全体で継続して展開する。

## 2. 評価の視点

上記事業計画文中に記載 (特に括弧書きのないものは、実施可否での評価)

管理者 伊東 浩一



# 神愛園かなやま

## 小規模多機能型居宅介護

### 1. 事業計画

#### (1) 選ばれ続ける職場づくり

- ①キャリアパスを踏まえての、資格取得に向けた計画的なシフト調整
- ②達成感を味わえる、小さな成功体験の積み重ねを可能にする施策の実施
- ③メンタルヘルス（ストレス予防）のため、風通しよく意見が交わせる施策の実施

#### (2) サービスのすそ野の拡充

- ①ご利用者・ご家族が安心して在宅で暮らせるために、小規模多機能型居宅介護に特有の機能を十分に発揮した柔軟なサービスの提供
- ②ご利用者の「～したい」を実現する、ご家族・地域・医療・スタッフを交えた、地域での暮らしの包括的な支援
- ③緊急時を想定した対応計画と、そのためのご利用者・ご家族との事前のサービス調整
- ④気軽に寄れる「かなやま」を目指して、ご利用者と共に地域の行事に参加

#### (3) リスクマネジメント機能の強化

- ①リスクを未然に防ぐための「リスク発見シート」を作成
- ②自己点検一覧表（札幌市）を用いた、自主点検の実施（半年毎）

#### (4) 新たな地域価値の創造

- ①地域包括ケアの拠点となれるような運営を目指した運営推進会議の開催（2ヶ月毎）
- ②地域ニーズの掘り起こしと、登録ご利用者を含めた地域住民への支援のため、地域の民生委員や住民との懇談会を開催（半年毎）
- ③かなやま2階部分を地域に開放（集会や講習会などでのご利用を想定）
- ④地域住民がいつでも困りごとを相談できる「介護110番」の設置

### 2. 評価の視点

上記事業計画文中に記載（特に括弧書きのないものは、実施可否での評価）

管理者 盛藤 久美子

# 札幌市琴寿園

軽費老人ホームB型札幌市琴寿園

## 1. 事業計画

### (1) 利用者の生活の質の向上

- ①ご利用者の個別のニーズ、心身の状況を把握し、個別サービス計画により、尊厳をもった生活が継続できるよう、ご家族とも連携を取りながら支援する。
- ②自立した生活が営めるよう、行事やクラブ活動等に介護予防の要素を取り入れるとともに、介護予防プログラムの充実を図り、個々人が選択して取り組めるよう支援する。
- ③介護保険サービス、保健医療サービス及び福祉サービスとの連携を深め、法令を順守したサービスの提供を行い、ご利用者の生活の質（QOL）の向上に努める。
- ④地域の人々との交流や支えあいを通して、地域の活性化に取り組む。  
「琴寿園運営協議会」については今年度も開催し、施設運営の「見える化」に努める。
- ⑤琴寿園対象外の相談者にも、地域包括や他の社会資源の活用などの連携や情報提供に努め、課題解決のための適切な相談業務に努める。

### (2) 職員の資質向上

- ①毎朝の聖書通読等を通して法人理念を共有し、その実践に努める。
- ②施設内外の研修に積極的に参加し、キャリアパス制度を通して資質向上に努める。
- ③相互の協力体制や情報の共有を通して、働きやすい環境づくりに努める。

### (3) 施設設備と安全管理

- ①災害に対する防災意識を高め、地域と連携、協力をして迅速かつ的確な対応に努める。
- ②事故防止のため、利用者と職員共々危機管理意識を高め、安全保持に努める。
- ③インフルエンザやノロウイルス等の感染症に対する意識と予防の励行
- ④施設内外の日常点検・定期的点検を行い、安全で快適な環境を提供

### (4) 地域貢献のための活動

- ①町内会との防災協定や防災訓練の共同実施などを実施
- ②町内会の行事への参加、及び琴寿園の町内からの参加を呼び掛ける。
- ③琴寿園広報を発行し、町内会との相互の理解促進に努める。

## 2. 評価の視点

- (1) 事業計画を各月毎に再確認し、前期・後期に分けて点検と実施状況の検証を実施
- (2) 事業目標に対しての実施状況を数値化できるものは数値化して業務の効率を図る。
- (3) 情報開示の観点から札幌市琴寿園運営協議会に報告

施設長 村田 泰之

# 神愛園清田

特別養護老人ホーム神愛園清田、短期入所生活介護

## 1. 事業計画

### (1) 「介護の力」を活かせる土壌づくり

- ①良質なケアを提供するため、ケアプランの PDCA（計画→実行→評価→見直し）サイクルを確立（実施記録）
- ②マネジメントサイクルを定着させ、事故等の予防を推進（予防措置管理票）
- ③全職種の専門性を発揮するため、各種会議・委員会の整備・充実

### (2) 育成環境のしつらえ

- ①法人重点プロジェクトに積極的に参加し、人材育成システムを構築
- ②初任者研修の質の安定を図るため、職員へのトレーナー研修の計画と実施
- ③風通しのよい職場に向けて、管理職中心のマネジメント研修受講推進
- ④メンタルヘルス対策を推進し働きやすい職場環境の整備
- ⑤介護技術マニュアルの更新整備
- ⑥業務内容を見直し、残業時間削減（前年度残業時間と対比）
- ⑦認知症ケアの充実を図るために、研究活動の計画と実施

### (3) 地域交流

- ①地域交流推進委員会の活動を通じた地域ニーズの把握と周知
- ②学校等で「福祉の心」を伝え続け、良質な介護のブランド“神愛園”を推進

### (4) 安定した施設運営

- ①建物や設備の計画的な修繕・交換作業
- ②開設 20 周年実行委員会の設立と活動

## 2. 評価の視点

上記事業計画文中に記載（特に括弧書きのないものは、実施可否での評価）

施設長 成澤 光子

# 清田地区在宅部門

高齢者居宅介護相談センター、デイサービスセンター、ヘルパーステーション

## 1. 事業計画

### (1) 利用者の思いに沿った支援の提供

- ①地域での自立した生活を目指し、ケアプランへのインフォーマルサービス活用
- ②関係者一体で支援するため、サービス担当者会議やモニタリング報告等を充実
- ③利用者や関係機関の信頼性を高めるため、ケアプランの PDCA (計画→実行→評価→見直し)サイクルを確立
- ④経済状況の考慮を含め、事前説明・同意を定着させる施策の実施

### (2) 人材育成と風通しのよい職場づくり

- ①専門性を高めるため、キャリアパスを踏まえた計画的な職員育成と資格取得奨励
- ②事故・苦情処理に関する新任職員への内部制度に関する研修の実施
- ③中堅職員へのリスクマネジメント研修の実施
- ④ストレスチェックの実施
- ⑤法人の重点プロジェクトへの積極的な参加
- ⑥研修参加計画の作成と受講記録の作成・共有

### (3) 安定した施設運営

- ①水光熱費等に見える化し、省エネに取り組む。
- ②建物や設備の計画的な修繕・交換作業
- ③自己点検一覧表（基準）に基づく自主点検の実施と改善活動

### (4) その人らしく生活できる地域づくり

- ①地域行事・研修会等への積極的な参加
- ②清田総合施設の「地域交流推進委員会」が企画する活動への参加

## 2. 評価の視点

上記事業計画文中に記載（特に括弧書きのないものは、実施可否での評価）

管理者 深田 伸二

# 介護予防センター清田中央

札幌市清田区介護予防センター清田中央

## 1. 事業計画

### (1) 総合相談支援業務

- ①地域住民の一番身近な相談窓口としての機能発揮
- ②相談等での個別ニーズ把握と、地域資源や専門機関との連携

### (2) 介護予防事業

- ①地域ニーズに合わせた多様な介護予防事業の実施と啓発
- ②地域組織の自主的かつ継続的な介護予防実施の支持

### (3) 地域ケア会議

- ①個別地域ケア会議で抽出された地域課題や、運営主体のみでは解決困難な地域課題、好事例、有効な解決手法、担当地区の現状と課題等の共有化
- ②地域・地区組織・事業者との協働で地域課題を改善し、セーフティネットを創出

### (4) 介護予防・日常生活支援総合事業への円滑な移行

- ①2016年度は当該事業の実施に向けた準備を行う期間とし、現行の介護予防事業内容の見える化を行う
- ②地域包括支援センターとの連携で、「二次予防事業卒業者」・「介護予防の取組の継続支援が必要な方」・「介護が必要な状態になりそうなハイリスク者」の活動の場や参加の機会を創出

### (5) ボランティアの育成

能力や技術を有する方を介護予防事業の運営を通じて社会参加と結びつけ、活躍の場を提供

### (6) 神愛園独自の地域づくりの展開

業務を通じて得られる地域ニーズを地域交流推進委員会や各事業所にフィードバックし、地域支援や地域貢献事業に結びつける。

## 2. 評価の視点

上記事業計画文中に記載（特に括弧書きのないものは、実施可否での評価）

センター長 深田 伸二

# シャローム羊ヶ丘

ケアハウス シャローム羊ヶ丘

## 1. 事業計画

### (1) 生活を実感できるご利用者支援

- ①「転倒予防体操」に加え、「認知症予防」や「健康維持」に関する機会創出
- ②地域活動に関する情報提供や参加支援を通じた地域交流促進
- ③支援ニーズの多様化に向けた、制度理解や相談援助技術を高める施策の実施
- ④ご利用者がやりがいを感じながら社会参加できるような施策の実施
- ⑤支援を明確化し統一感を持たせるべく、個別支援計画の PDCA (計画→実行→評価→見直し)サイクルを確立

### (2) 育成環境の整備

- ①育成環境の向上のため、法人の重点プロジェクトへの積極的な参加
- ②キャリアパスを踏まえた各種研修への参加勧奨
- ③職場意識調査を活用した働きやすい環境作りの推進

### (3) 地域交流

- ①開放的で来園しやすい施設への具体的な取り組み
- ②地域交流推進委員会の活動の参加を通して、地域ニーズの把握と内部公開
- ③地域と防災協定に取り組み、地域と一体となった防災を推進

### (4) 安定した施設運営

- ①建物や設備の計画的な修繕・交換作業
- ②入居者の体調の変化や事故などに備え、個別の緊急対応リストを整備
- ③感染症や食中毒などの予防を促進し、入居者と蔓延防止に取り組む
- ④入居ニーズを積極的に把握し、役割や機能が無駄なく発揮する (入居率 100%)

## 2. 評価の視点

上記事業計画文中に記載 (特に括弧書きのないものは、実施可否での評価)

施設長 深田 伸二

## 事業別業績目標

施設・事業所 目標項目	神愛園手稲		神愛園清田				
	特養	短期	特養	短期	通所	訪問	居宅
利用者定員	83名	5名	75名	9名	35名	40名	105名
延べ利用者数	29,930名	1,277名	26,828名	2,920名	7,464名	—	1,260名
訪問件数 又は 請求件数	—	—	—	—	—	2,523件	1,080件
1日平均利用者数 又は 月間平均請求件数	82.0名	3.5名	73.5名	8.0名	24.0名	10.0名	90.0件
稼働率	98.8%	70.0%	98.0%	88.9%	68.5%	—	85.7%
稼働延べ日数	365日	365日	365日	365日	311日	311日	311日

施設・事業所 目標項目	星置ハイツ				シャローム 羊ヶ丘	かなやま	琴寿園
	軽費 A 型	通所	訪問	居宅	ケアハウス	小規模 多機能型	軽費 B 型
利用者定員	50名	10名	40名	70名	40名	25名	50名
延べ利用者数	17,155名	2,287名	—	840名	14,600名	8,760名	16,790名
訪問件数 又は 請求件数	—	—	1,740件	714件	—	—	—
1日平均利用者数 又は 月間平均請求件数	47.0名	7.4名	7.0名	60.0名	40.0名	—	46.0名
稼働率	94.0%	74.0%	—	85.0%	100.0%	96.0%	92.0%
稼働延べ日数	365日	311日	311日	269日	365日	365日	365日